



図書館20周年記念
八木圭一講演会

図書館開館20周年を記念して十勝出身のミステリー作家八木圭一さんをお招きし講演会を開催します。

▽とき 9月29日(日)、午後2時～3時30分

▽ところ 図書館

▽対象 一般市民

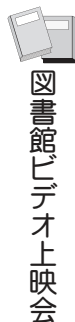
▽演題 「地域ブランドの確立に向けてく音更・十勝資源のポテンシャルを考える」

▽講師 八木圭一さん

▽入場料 無料

▽申込 図書館で受け付け

けます。



▽とき 9月22日(日)、午後3時～4時45分

▽ところ 図書館

▽対象 一般市民

▽内容 「ケアンンくあなたでよかつた〜」…大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。圭が初めてメインで担当することになったのは認知症の星川敬子79歳。

▽入場料 無料



今月の1冊◇

『さよならの儀式』

宮部みゆき 著

河出書房新社



小さな漁村に、海の向こうから「屍者」のトムさん

がやってきて…。「海神の裔」を始め、親子の救済、老人の覚醒、別の人生の模索などを描いた作品全8編を収録。

◇一般書◇

『いけない』

道尾秀介 著

『てんげんつづ』

島中恵 著

『夏の騎士』

百田直樹 著

『我がが少女A』

高村薫 著

『この顔と生きるということ』

岩井建樹 著

『まなの本棚』

芦田愛菜 著

『止まった刻 検証・大川小事』

河北新報社報道部 著

『マリネの法則』

川上文代 著

『日本ビール缶大全』

長谷川正人 著

◇児童書◇

『きんぎょすくいめいじん』

松成真理子 作

『おかあさんありがとう』
みやにしたつや 作・絵
『タヌキのきょうしつ』
長谷川義史 絵
『かいけつゾロリうちゅう大さくせん』
原ゆたか 作・絵

『意味がわかると鳥肌が立つ話』
蔵間サキ 編著

『発表がうまくなる』
室木おすし

『ぜんぶ5分中学からの最高にゆるい勉強法』
全教研 監修

『マンガ・イラスト』
マンガ・イラスト

『認知症を理解する』
「認知症を理解する」

『認知症の人の心の中はどうなっているのか?』
佐藤眞一 著

『認知症の人の心の中はどうなっているのか?』
光文社

『認知症の人の心の中はどうなっているのか?』
日常会話によって認知症

の人を知り、会話を増やすためのツール「CANDY」とは。認知症の人の孤独とプライド、そして苦しみとは。認知症の人の心の読み解き方を、最新の研究成果に基づいて示す。

『認知症予防におすすめ図書館利用術』1〜3』
結城俊也 著

『物忘れ・認知症を撃退! 脳がよみがえるきくち体操』
菊池和子 著

『ゆかいな認知症』
奥野修司 著

『認知症かな?と思ったらすぐ読む本』
朝田隆 監修

『気持ちが楽になる認知症の家族との暮らし方』
繁田雅弘 監修

『現場で役立つ! 早引き認知症ケアハンドブック』
榊原宏昌 著

『認知症の人の心の中はどうなっているのか?』
日常会話によって認知症

申込・問合せ先
○ 図書館 ☎32-2424、
FX32-2566
○ 図書館分館 ☎・FX32-4688